

高等部教育目標				
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う				
探究型カリキュラム教育/学習目標				
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける				
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning				
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>	3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>	5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>
上位学習目標				
【知識・技能】				
・ 社会で用いられているAI等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる				
・ 簡単なプログラムを使って実際にAIを動かすことができる				
【思考力・判断力・表現力】				
・ 社会的課題について調べ、AI等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる				
・ AIが人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる				
・ テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る				
・ 上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる				
【学びに向かう力・人間性】				
・ AIや新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それを用いて解決しようとする姿勢を持つことが出来る				
・ 社会的課題に向き合う中で、AIなどに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる				

授業日	9/10(火)	2 学期授業回数	1 回目 / 全 10 回			
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・夏休みの間に考えた AI を用いた製品について、プレゼンテーションを行うことができる ・他の AI の製品について、アドバイスを加えることができる					
時間 授業内容	90	1) 以下の夏休みの宿題に基づいた、2 分間発表 ・Classi のメッセージ機能で個人-教員 2 名で意見交換をし続ける ・最終目標は、次ページ以降のスライドを用いた 2 分間のプレゼン ・メッセージのやり取り回数や内容の深さを評価します ・最初のメッセージは 【その AI の分類】 (教育・行政・企業・社会課題の解決など、あなたが想定するプレゼンの場所) 【その AI は実際に何をするのか】 【それは拡張? 代行?】 【なぜ、この AI が必要と思う?】 ・発表形式: 5 つのスライド タイトル / 概要 / 課題 / ソリューション / 効果 2) 生徒達は相互評価を行う				
評価方法	<table border="1"> <tr> <td> <b>観点1</b> そのアイデアに用いられるAIの「概要」「課題」「ソリューション」「効果」と分類「AIは何をするのか」の説明の明確性            企業や行政が抱える「課題」、それに対するAIを用いた「ソリューション」、それによる「効果」だけでなく、用いられるAIの「仕組み」の説明の全ての項目の説明が丁寧である            A 5点            B 3点            C 1点         </td> <td> <b>観点2</b> そのアイデアを実施することの「必要性」、世の中や人を動かす「波及性」、売れそうかどうかの可能性」というインパクト            発表内容について、「おっ」「すごい」「そうなんだ」と印象に思わせるインパクト            A 5点            B 3点            C 1点         </td> <td> <b>観点3</b> 訴求力            発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が全員から強く感じられる。            発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる            発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない         </td> </tr> </table>			<b>観点1</b> そのアイデアに用いられるAIの「概要」「課題」「ソリューション」「効果」と分類「AIは何をするのか」の説明の明確性 企業や行政が抱える「課題」、それに対するAIを用いた「ソリューション」、それによる「効果」だけでなく、用いられるAIの「仕組み」の説明の全ての項目の説明が丁寧である A 5点 B 3点 C 1点	<b>観点2</b> そのアイデアを実施することの「必要性」、世の中や人を動かす「波及性」、売れそうかどうかの可能性」というインパクト 発表内容について、「おっ」「すごい」「そうなんだ」と印象に思わせるインパクト A 5点 B 3点 C 1点	<b>観点3</b> 訴求力 発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が全員から強く感じられる。 発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる 発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない
<b>観点1</b> そのアイデアに用いられるAIの「概要」「課題」「ソリューション」「効果」と分類「AIは何をするのか」の説明の明確性 企業や行政が抱える「課題」、それに対するAIを用いた「ソリューション」、それによる「効果」だけでなく、用いられるAIの「仕組み」の説明の全ての項目の説明が丁寧である A 5点 B 3点 C 1点	<b>観点2</b> そのアイデアを実施することの「必要性」、世の中や人を動かす「波及性」、売れそうかどうかの可能性」というインパクト 発表内容について、「おっ」「すごい」「そうなんだ」と印象に思わせるインパクト A 5点 B 3点 C 1点	<b>観点3</b> 訴求力 発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が全員から強く感じられる。 発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる 発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない				
宿題指示	なし					